



東成瀬源流シンポジウムを開催

9月9日（土）13時から横手市ふれあいセンターかまくら館において、東成瀬源流シンポジウム2017が開催されました。

秋田県内はもとより、他県からも参加者があり、約290名に来場頂きました。

昨年は、源流である東成瀬村を会場に実施し、今年を下流の受益地である横手市を会場としております。

開会に先立ち、高村河川部長から挨拶を頂きました。



高村河川部長の挨拶



明神太鼓(横手市)の演奏



Soul&Beat天地人の演奏



左から
コーディネータの
岩谷忠幸氏
パチスト
大間ジロー氏
佐々木東成瀬
村長



パチスト
左から
高橋横手市長
國定三条市長
関西目屋村長
町屋成瀬ダム
工事事務所長

パネルディスカッションの様子

オープニングでは、横手市の子どもたちで結成された明神太鼓の演奏に続き、Soul&Beat天地人Ten-Chi-Jin(大間ジロー^{さん}黒澤博幸^{さん})が和太鼓奏者の遠藤元気^{さん}をゲストに迎え演奏を行いました。

また、「ダム・源流を活かした地域づくり」と題したパネルディスカッションでは、國定三条市長や関西目屋村長から先例地としての取組みの報告を、高橋横手市長や佐々木東成瀬村長からは、ダムによる地域づくりへの期待などについて活発な意見交換が行われました。

この他、会場においては、成瀬ダムに関するパネルの他、雄物川100周年のパネルなどの展示が行われました。



東成瀬村の魅力を紹介する佐々木村長

村内限定 成瀬ダム現場見学会

10月3日(火)、4日(水)の2日間に、東成瀬村内限定の現場見学会を開催しました。平日の開催となってしまいましたが、41名の多くの方々にご参加頂きました。

今年度から、成瀬ダムでは、ダム本体関連工事として、ダムの天端よりも高い部分の掘削や、原石山からの材料運搬に使用する工事用道路の造成など、大規模な工事が行われております。

そこで、日頃からお世話になっている東成瀬村内の皆様へ、いま成瀬ダムの工事がどこまで進んでいるのか、間近で見て頂くために企画したものです。

初日は雨に見舞われ、二日目は異例の寒さと天気には恵まれませんでした。熱心に見学頂き、「近くで見るのはやはり違う」「凄いな～」など、喜びと驚きの声が多く聞こえました。

また、多くの方から「またやって欲しい」という、ありがたい声を頂きました。

今後も、不定期ではありますが、実施していく予定です。その際は、お気軽にご参加ください。

今回、学校やお仕事の都合で参加できなかった方は、10月28日(土)の第50回東成瀬村産業祭でも特別見学会を行いますので、ご参加をお待ちしております。



2号トンネルでの説明



間近で見る重ダンプの迫力



展望台での概要説明(初日午前の雨・・・)



「指さす方の先に紅白の看板があります。看板がダムの天端を表しています。見えませんか？」

「どこどこ?」「どの辺?」

「心の清い人にしか見えないんだな～。え?見えました?良かったですね～。」

と、冗談も交えた説明もありました。

成瀬ダム建設事業マネジメント委員会

10月5日（木）に「成瀬ダム建設事業マネジメント委員会」を開催しました。マネジメント委員会とは、学識者や専門家などの第三者の立場から、ダム事業全般の実施状況や進捗状況を確認していただき、それに対する意見を今後の事業に反映させることにより、事業費管理や工程管理の一層の充実を図るものであり、平成20年度から毎年実施しているものです。

マネジメント委員会に先立ち、委員の皆様へ現地の進捗を確認していただきました。



◆展望台での説明（好天です。（^^）/）



◆進捗状況の確認

引き続き、成瀬ダム工事事務所において、マネジメント委員会を開催しました。



◆マネジメント委員会（全景）



◆委員からの質問状況（秋田大学：松富委員長）



◆事務局からの説明状況

《委員からの提言》

・平成28年度までの進捗及び平成29年度の実施状況については確認した。

・ダム型式の変更については、正式な手続きを経て行われたことを確認した。なお、新技術である台形CSGダムの施工にあたっては、十分な調査等を行い進めること。

・今後の本体工事の実施にあたっては、工程管理及び安全管理に十分留意して進めること。
なお、引き続きコスト削減に留意すること。

ダムカード完成

とうとう?と言うか、ついに!成瀬ダムにも『ダムカード』ができました。

ダムカードは、ちょうど10年前の平成19年度に国土交通省と独立行政法人水資源機構の管理するダムで「ダムを訪問した方を対象」に配付を始めたものです。

最初は、全国111のダムで始まり、平成29年4月時点では605ダムで配付するようになるなど、年々増加しています。

成瀬ダムでは、工事の本格化にあわせ、刻々と進む現場の様子を多くの方に見て頂くため、ダムカードの配付によるPRを考え、9月11日から配付を開始しました。

配付にあたり、土日などの閉庁日には配付できないため、役場さんから、休日に配付頂ける施設を紹介頂きました。

これにより、より多くの方にお越し頂ける様になり、村内の施設で配付することで、さらに東成瀬村の魅力を知って頂けるものと思っております。

ダムカードの配付にあたっての詳細は、成瀬ダム工事事務所WEBをご覧ください。

配付場所

◆4月下旬～11月下旬の土日・祝祭日のみ

夢・なるせ直売所 8時～16時30分まで

◆11月下旬～4月下旬の土日・祝祭日のみ

郷土文化保存伝習施設 ふる里館

成瀬ダム展望台などで、『ダムへ行った事が確認できる写真が必要』です。デジカメ、スマートフォンなどで写真を撮影し、提示をお願いします。



6月に撮影した航空写真にダム完成後の姿を合成した表面



第1号小倉さん

ダムカード配付第1号は、北海道からお越しの小倉さん。キャンピングカーで秋田県内のダムカードは全て集めたそう。この後山形へ向かうと笑顔でお答え頂きました。



秋田県内ダムカード & 発電所カード

秋田県内では、玉川ダム、森吉山ダムに続き、秋田県管理の15ダムでダムカードが発行されています。

そして、今年の7月22日からは15発電所*で発電所カードの配付を開始しております。

成瀬ダム工事事務所では、秋田県建設部河川砂防課と産業労働部公営企業課のご協力により、秋田県の地図にダムと発電所の位置を示し、ダムカードと発電所カードを貼り付けたパネルを作成し、事務所内に展示しております。

ご覧になりたい方は、お気軽に事務所へお越しください。

*：15発電所を集めると早口発電所とコンプリートカードが貰えるそうです

特別見学会のお知らせ

10月28日東成瀬村産業祭の開催に合わせて、成瀬ダム特別見学会を開催します。

どの辺が“特別”かと言うと、普段立ち入ることのできない現場内まで、ご案内するという点です。

なお、バスの定員がありますので、参加を希望される方は、事前に申込みをお願い致します。

実施日 平成29年10月28日(土) 午前、午後各1回 各回40名先着(25日締切)
当日会場において各回20名を追加募集いたします。

実施時間 午前 9時30分～12時30分、午後 1時30分～3時30分

見学コース 東成瀬村体育館出発～(約30分)～現場見学(約1時間)～(約30分)～東成瀬村体育館到着
現場見学：成瀬ダム展望台～左岸ダムサイト付近～ダムサイト～付替国道2号トンネル

- 注意事項とお願い
- ・出発時間の15分前までには、受付されるようお願いいたします。
 - ・工事の進捗状況により、見学場所が変更になる場合があります。
 - ・大雨注意報など気象に関する注意報等が無い限り、小雨の場合は実施します。
 - ・動きやすい服装や汚れても大丈夫な履き物をお願いいたします。

申込み 氏名・住所(〇〇市〇〇町まで)・性別・年齢 を電話・FAX・メールで申込みください。

申込み先 成瀬ダム工事事務所 電話 0182-23-8438 FAX 23-8437

Mail thr-narusedam01@mlit.go.jp

成瀬ダム工事事務所WEBページに掲載の申込み書を使用頂けます。

成瀬ダム工事事務所WEBページ



キバナコスモス満開



成瀬ダム工事事務所周辺の国道342号沿いは、キバナコスモスの見頃を迎えています。6月13日に東成瀬小・中学校の児童生徒さんが「優しい心」「協力する心」「奉仕する心」の三つの心と一緒に種をまき、キレイに咲いたのだと思います。



工事現場だより

●「成瀬ダムトクラ地区整備工事」の現場を紹介します。

成瀬ダム堤体（右岸）の基礎岩盤を出すために、ダム堤体上部の法面掘削等を行う工事です。

工事では、ICT技術^(※1)を使って地上レーザによる測量などを行って、掘削量が約400,000m³と大規模なため、40t積みの重ダンプ^(※2)（道路で目にするのは10t積みダンプ）等、日常見る事が無い大型の重機を使用して進めています。

- ※1：ICT（Information and Communication Technology）情報通信技術の略で、国土交通省では、「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上と、魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Construction（アイ・コンストラクション）を進めています。
- ※2：重ダンプとは、最大積載量が11tを超え、一般道を走行できない車両を言います。ここで紹介している重ダンプは、アーティキュレートダンプと呼ばれる、articulate（関節でつながれた）ダンプで、車体の途中で中折れやねじれる構造であるため、不整地に強く小回りが効きます。



現場代理人から、ひと言。

「成瀬ダムトクラ地区整備工事」
施工会社：(株)竹中土木 東北支店

現場代理人
宗澤 哲郎



当該工事は高低差のある法面掘削と法枠工、昼夜間での大規模土工があり、常に危険を伴う作業が想定されます。このためICT技術を有効的に取り入れ、作業の安全性及び品質の確保を行っていきます。雪国での施工は慣れていないメンバーですが、職員・協力会社一丸となって『全工期無事故・無災害』を目指し、工事を安全に進めて参ります。



地上レーザ機器を使って測量中です



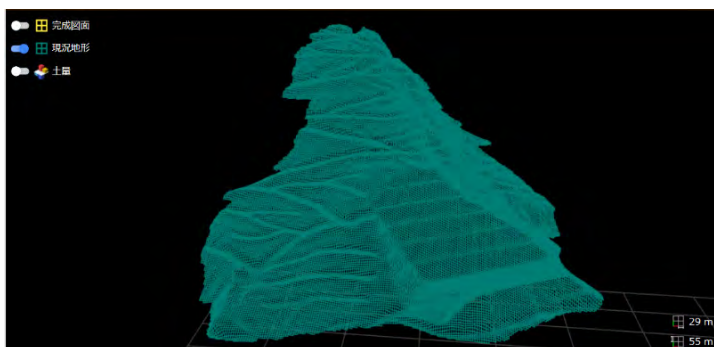
丸で囲った頭部とレーザーが360°回転してレーザを出し、地形を把握します。



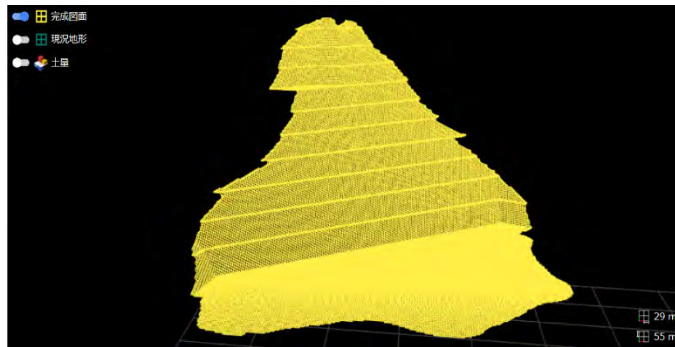
車両の大きさ比較



40t積ダンプの後ろ姿



地上レーザ測量によって作成された三次元データ（現況地形）



地上レーザ測量によって作成された三次元データ（完成図面）

発行 国土交通省 成瀬ダム工事事務所 調査設計課

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1

TEL 0182-23-8450(代表) FAX 0182-23-8449

URL <http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>

成瀬ダム

検索

